

開発行為等の計画許可申請書

座間味村長 殿

申請者 住 所

氏 名

印

座間味村景観条例第46条第1項の規定により、下記のとおり計画の許可を申請します。

記

1 開発等工事主等の概要

(1) 開発等工事主

- イ 氏名のフリガナ _____
- ロ 氏名 _____
- ハ 郵便番号 〒 _____
- ニ 住所 _____
- ホ 電話番号 _____

(2) 設計者

- イ 資格 _____ () 建築士 () 登録第 _____ 号
- ロ 氏名 _____
- ハ 建築士事務所名 _____ () 建築士事務所 () 知事登録第 _____ 号
- ニ 郵便番号 〒 _____
- ホ 所在地 _____
- ヘ 電話番号 _____

(3) 工事監理者

- イ 資格 _____ () 建築士 () 登録第 _____ 号
- ロ 氏名 _____
- ハ 建築士事務所名 _____ () 建築士事務所 () 知事登録第 _____ 号
- ニ 郵便番号 〒 _____
- ホ 所在地 _____
- ヘ 電話番号 _____

(4) 工事施工者

イ 氏名 _____
ロ 営業所名 _____ 建設業の許可 (_____) 第 _____ 号
ハ 郵便番号 〒 _____
ニ 所在地 _____
ホ 電話番号 _____

2 計画の内容

(1) 開発行為等の場所

イ 地名地番 座間味村
ロ 区域区分 集落景観保全地区 自然景観保全地区 農地景観形成地区
島の玄関景観形成地区 海域景観地区

(2) 行為の種類

開発行為 土地の形質の変更 木竹の伐採 屋外における物件の堆積 特定照明

(3) 着手予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(4) 完了予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(5) その他必要な事項

(6) 備考

備考

- 1 申請者又は工事施工者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 3 設計者又は工事監理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ設計者又は工事監理者の住所を書くこと。
- 4 工事監理者又は工事施工者が未定のときは、後で定まってから工事着手前まで届けること。
- 5 変更申請を行う場合には、2（5）に変更の概要を記載すること。
- 6 行為の名称又は工事名が定まっているときは、2（6）に記載すること。

※該当する□にレ印を付けること。